

- 昨今、接種すべきワクチンが増加しているが、一般にワクチン製剤ごとのスケジュールが複雑化するほど、また接種回数が増えるほど、被接種者の利便性は低下し、接種事故や有害事象等のリスクが増加する。
- 今後の研究開発に関し、以下の対応がなされている。
 - 予防接種基本計画に開発優先度の高いワクチンとして、DPT-IPVを含む混合ワクチンが明記された。
 - 第6回研究開発及び生産・流通部会において、DPT-IPVにHibを加えた5種混合ワクチンの開発にあたっては、現在のHibワクチンの接種時期にあわせる形で接種時期を検討する方針が示された。
- その他、今後、B型肝炎を加えた6種混合ワクチンの開発が進められることが考えられるが、接種スケジュール及び接種回数については、各国で異なっている。



今後のワクチンの開発にあたって、下記を開発企業に要請してはどうか。

- 十分な免疫が得られると期待される範囲において、臨床試験でより少ない接種回数での有効性についても評価すること。
- 同様の疾患を予防できるワクチンについては、可能な範囲で、既存のワクチンとの有効性に関する互換性を評価すること。

諸外国における混合ワクチンの予防接種スケジュール

		19 1 23	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	8 歳	9 歳	10 歳	11 歳	12 歳	13 歳	14 歳	17			
5 種 混 合 を 使 用	米 国 1	DPT																	
		ホリオ			5混		5混												
		Hib																	
		B型肝炎2)	HB	HB															
イ ギ リ ス	イ ギ リ ス	DPT																	
		ホリオ			5混	5混	5混												
		Hib																	
		B型肝炎3)	HB	HB	HB														
6 種 混 合 を 使 用	フ ラ ン ス 4	DPT																	
		ホリオ			6混		6混												
		Hib																	
		B型肝炎5)																	
	ド イ ツ 6	ド イ ツ 6	DPT																
			ホリオ			6混	6混	6混											
			Hib																
			B型肝炎7)																
	オ ー ス ト リ ア 8	オ ー ス ト リ ア 8	DPT																
			ホリオ																
			Hib																
			B型肝炎																
ベ ル ギ ー 9	ベ ル ギ ー 9	DPT																	
		ホリオ			6混	6混	6混												
		Hib																	
		B型肝炎10)																	
日 本	日 本	DPT																	
		ホリオ				4混	4混	4混											
		Hib				Hib	Hib	Hib											
		B型肝炎11)	HB	HB															

1) <http://www.cdc.gov/vaccines/schedules/downloads/child/0-18yrs-combined-schedule-bw.pdf>

2) Birthで接種した場合、その後のB型肝炎を含む混合ワクチンを接種し、計4回接種となることは差支えない(認められている)

3) キャリアの母親から生まれた児のみ接種、4) http://www.invs.sante.fr/content/download/62968/248437/version/6/file/BEH_14_15_2013.pdf のp144を参照

5) キャリアの母親から生まれた児へは、0.1, 6カ月で接種、6) <http://www.newsdigest.de/newsde/column/doctor/2809-vaccination-for-children.html>

7) 母親がキャリア(感染者)の場合、出生時にも接種する。8) <http://bmg.gv.at/cms/home/attachments/8/9/4/CH1100/CMS1389365860013/impfplan2014.pdf>

9) 2014年のフランダース政府発表資料(<http://www.zorg-en-gezondheid.be/basisvaccinatieschema/>)

10) 母親がキャリア(感染者)の場合、出生時にも接種し、その後の混合ワクチンも実施する。11) 予防接種基本方針部会において検討中の2案を記載